

大項目	中項目	小項目
		ス>
		14 結膜炎、角膜炎
		15 白内障
		16 緑内障
		17 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化
		18 急性中耳炎
		19 良性発作性頭位眩暈症
		20 アレルギー性鼻炎
		21 急性・慢性副鼻腔炎
		22 上気道炎、扁桃炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
		23 気管支喘息<小児喘息を含む>
		24 肺炎、胸膜炎
		25 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
		26 肺結核
		27 慢性呼吸不全
		28 肺癌
		29 自然気胸、緊張性気胸
		30 気道閉塞
		31 急性呼吸不全、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>
		32 肺循環障害<肺梗塞、肺塞栓症>
		33 肺水腫、うっ血性心不全
		34 過換気症候群
		35 不整脈
		36 先天性心疾患
		37 弁膜症<僧帽弁膜症、大動脈弁膜症>
		38 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		39 心筋症
		40 高血圧症
		41 動脈硬化症
		42 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		43 閉塞性動脈疾患
		44 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		45 胃食道逆流症[逆流性食道炎<GERD>]
		46 胃・食道静脈瘤
		47 食道癌
		48 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		49 胃癌
		50 急性胃腸炎
		51 便秘症
		52 乳児下痢症
		53 急性虫垂炎
		54 炎症性腸疾患<潰瘍性大腸炎、Crohn病>
		55 機能性消化管障害<機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群>
		56 大腸癌
		57 痔瘻、痔核
		58 急性・慢性肝炎、脂肪肝
		59 肝硬変、肝不全、肝性脳症
		60 肝癌
		61 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		62 急性・慢性膵炎
		63 膵癌

大項目	中項目	小項目
		64 鼠径ヘルニア
		65 腸閉塞
		66 腸重積症
		67 汎発性腹膜炎
		68 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		69 急性白血病
		70 出血傾向、播種性血管内凝固<DIC>
		71 悪性リンパ腫
		72 急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		73 急性腎盂腎炎、尿路感染症
		74 糖尿病性腎症
		75 急性・慢性腎不全
		76 腎癌、膀胱癌
		77 尿路結石
		78 前立腺肥大症、前立腺癌
		79 子宮内膜症、月経困難症
		80 卵巣癌
		81 子宮筋腫
		82 子宮頸癌、子宮体癌
		83 更年期障害
		84 緊張型頭痛、片頭痛
		85 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		86 脳梗塞
		87 脳卒中後遺症
		88 Parkinson 病
		89 髄膜炎、脳炎、脳症
		90 熱性けいれん
		91 てんかん
		92 脳性麻痺
		93 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		94 椎間板ヘルニア
		95 肩関節周囲炎
		96 変形性関節症
		97 関節リウマチ
		98 骨折
		99 頭部外傷、脊髄損傷
		100 甲状腺機能亢進症・低下症
		101 糖尿病、メタボリックシンドローム
		102 脂質異常症<高脂血症>
		103 高尿酸血症、痛風
		104 骨粗鬆症
		105 乳癌
		106 アナフィラキシー
		107 薬疹
		108 敗血症
		109 急性食中毒
		110 皮膚潰瘍、褥瘡
		111 熱中症、寒冷による障害
13 治療の基礎と基本手技 約8%	A 意義と目標	1 疾患の治療・自然治癒
		2 キュアとケア
	B 種類と特性	1 原因治療、対症療法
		2 保存療法、根治療法

大項目	中項目	小項目
		3 特殊療法
	C 治療計画	1 治療の適応・選択 2 治療計画書
	D 治療の場	1 外来 2 入院 3 在宅 4 地域 5 隔離
	E 生活指導	1 指導計画 2 生活習慣の改善 3 患者への指導 4 家族・介護者への指導 5 小児・妊産婦・高齢者への指導 6 安静 7 体位 8 環境
	F 日常生活動作<ADL>	1 運動機能 2 認知機能
	G 介護	1 介護の定義・種類 2 介護者の一般的注意 3 精神的ケア 4 日常生活動作<ADL、入浴、排泄、摂食> 5 住居
	H 在宅医療	1 在宅状況の把握 2 在宅療養の指導 3 訪問診療 4 訪問看護 5 在宅酸素療法 6 在宅人工呼吸 7 在宅中心静脈栄養法 8 在宅疼痛管理 9 在宅経管栄養法 10 持続的外来腹膜透析<CAPD> 11 在宅自己導尿法 12 在宅自己注射法
	I 機器・器材と安全な取扱法	1 処置用機械・器具 2 診療施設用機械・器具 3 運動療法用器具 4 生体機能補助・代行器 5 陰圧室 6 無菌室、バイオクリーン室
	J 消毒・滅菌	1 無菌・滅菌法、消毒法
	K 注射	1 皮内 2 皮下 3 筋肉 4 静脈 5 動脈
	L 静脈路確保	1 静脈穿刺 2 末梢静脈路 3 静脈切開 4 中心静脈路
	M 輸液、輸血	1 適応、禁忌 2 方法 3 1日必要水分量・エネルギー量

大項目	中項目	小項目
		4 副作用、合併症
	N 浸潤麻酔	1 適応、禁忌 2 方法
	O 穿刺、切開、ドレナージ	1 くも膜下腔 2 胸腔 3 心膜腔 4 腹腔 5 関節腔 6 膿瘍
	P 創傷・褥瘡の処置・治療	1 創傷治癒過程 2 創の洗浄、デブリドマン 3 創の消毒の必要性 4 止血 5 縫合
	Q 瘻孔・ストーマの管理	1 気管切開孔の管理 2 胃瘻<PEG>の管理 3 ストーマケア
	R 気道確保	1 適応と方法
	S 胃管挿入	
	T 浣腸	
	U 導尿	1 導尿カテーテル 2 膀胱穿刺
	V 薬物療法	1 適応、禁忌、慎重投与 2 薬物アレルギー 3 薬物依存 4 薬物耐性 5 薬物相互作用
14 死と終末期ケア 約2%	A 死	1 死の判定 2 脳死、脳死判定基準 3 異状死体、異状死胎 4 系統解剖、行政解剖、司法解剖
	B 緩和ケア	1 身体的苦痛の緩和・除去 2 精神的苦痛の緩和・除去 3 全人的苦痛<トータルペイン> 4 反応性抑うつ 5 リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション> 6 ホスピス、緩和ケア病棟<PCU> 7 WHO 方式3段階除痛ラダー 8 オピオイド鎮痛薬の副作用対策 9 家族とチーム医療
	C 終末期ケア	1 終末期患者とのコミュニケーション 2 家族のケア 3 対症療法<水分・栄養管理> 4 植物状態 5 尊厳死、リビングウィル 6 DNR<do not resuscitate> 7 安楽死 8 延命治療の中止の決定 9 小児の特殊性
15 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	1 医師間 2 医師と看護師間